

# 学校参観



西始良の子供たちががんばっている姿を多くの方々に披露しています。11月1日からの「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」では、平日にも関わらず、連日10名以上の参観者があり、4日間で延べ70名以上の方々に子供たちの道徳授業や給食、各教科の学習の様子をゆっくり見ていただく機会になりました。アンケートの感想には「あいさつが素晴らしい」や「子供たちがいきいきと学習したり、発表したりする姿に感心しました」など、多くの賞賛の声をいただきました。

今後も学習発表会や市研究公開（4・6年）、持久走大会などの学校行事等があります。感染症対策を行いながら、これからも光り輝く西始良っ子の参観・応援をよろしくお願いいたします。

ミュージック 4年生発表



給食試食会

# 始良市陸上記録会



10月15日(木)に新しく整備された始良市総合運動公園陸上競技場で市陸上記録会が行われました。今まで練習してきた成果を発揮し、下記のように入賞した選手やリレーのトップ10入り、自己新記録を更新した子供たちの活躍が輝きました。これからも運動に励み、体力向上を目指してほしいです。

- ・5年男子 100m走 3位 山本敦貴 15秒44
- ・5年男子 1000m走 4位 高味莉生 3分32秒11
- ・6年女子 60m障害走 5位 鮫島陽奈 12秒52
- ・6年女子 走り幅跳び 8位 岸田真凜 3m15cm
- ・6年男子 走り高跳び 9位 三嶋悠人 1m15cm
- ・6年男子 1000m走 10位 吉村慧汰 3分40秒37
- ・5年男子 400mリレー 4位 1分03秒13
- ・5年女子 400mリレー 9位 1分08秒29

# 読書の秋

10月23日(金)に読書集会を実施しました。下学年は「ひなたぼっこ」の皆さんの楽しい手遊び歌や紙芝居の読み聞かせなどがありました。上学年はビブリオバトル大会や図書委員会によるパネルシアターなどをしました。10月は読書月間で図書室でも様々な企画があり、本に親しんできたのですが、この読書集会でさらに「本を読みたい」という気持ちが高まったように思います。御家庭でも、是非“親子で”「読書の秋」を楽しんでください。



# かがやく「西始良っ子」

西始良校区青少年意見発表会（紙上発表）

<表彰者> (表彰式11月29日 9:00～ 体育館)

1年	澤本 美海	すごいよ おばあちゃん
2年	松元 花帆	とうろう七夕まつり
3年	脇園 みちか	え顔のくすり
4年	原 悠莉	自信をもってわたしの声をとどけたい
5年	坂元 吟匠	七時五十五分の小さな交流
6年	濱田 真帆	続けることの大切さ

<第4回 黎明の地ふるさと短歌大会>

特選 4年 吉村 泰斗  
佳作 6年 三嶋 悠人, 4年 濱田 結衣

<鹿児島県社会科作品コンクール（県審査）>

佳作 4年 知念 依紀

<南日本硬筆展>

推薦 2年 竹山 真司, 伊藤 六花  
樋之口 美羽, 松元 花帆  
4年 田畑 裕蒼, 知念 依紀  
原 悠莉, 松尾 蓮夏  
5年 西 清 花

# 12月行事予定

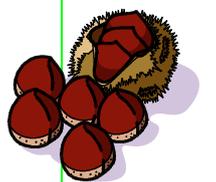
日	曜	行事等
11/30 ~12/4	月 金	学力定着旬間(11/24~) 校内人権週間
12/2	水	人権教室
12/3	木	持久走大会 学級PTA 家庭教育学級
12/4	金	子どもといっしょに読書の日
12/6	日	お米販売(おやじの会)
12/8~	火	修学旅行(6年) ~9日
12/10	木	休養措置日(6年)
12/10	木	スクールゾーン委員会
12/11	金	A L Tとの交流(1年~4年)
12/12	土	土曜授業
12/13	日	門松作り(おやじの会)
12/16	水	租税教室(6年)
12/16~	水	図書返却期間
12/21~	月	冬休み図書貸出 給食着回収
12/24	木	終業式 大掃除

<南日本新聞「子供のうた」に掲載された作品>

コオロギ  
五年 樋之口 隼人  
チロチロリン  
秋の夜は  
草っ原の中で  
コオロギたちが合奏た  
コオロギみんな  
チロチロリン チロチロリン  
秋の夜だけの特別授業  
耳をすませば  
聞こえてくるよ  
コオロギたちの 大合奏



くり  
五年 山本 敦貴  
トゲトゲしている いがべりの  
中から出てきた 三兄弟  
形は それぞれちがうけど  
にても 焼いても おいしいよ  
見た目は ちょっとこわいけど  
やさしい味の 秋の楽しみ





～「175人の笑顔輝く、楽しい学校を目指して」～

# 新風は西始良から

元気いっぱい 花いっぱい 笑顔いっぱい 歌声いっぱい

## 家庭学習の在り方

校長 二宮 伊佐武

11月1日(日)から7日(土)まで「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」が実施されました。本校でもこの期間



に、「自由参観週間」として自由に授業の様子を見ていただいたり、2日(月)は、「心の教育の日」と設定して、全学級で「道徳科」の授業を見ていただいたりしました。

多くの保護者や地域の方々に参加いただき、皆様の本校教育に対する期待の大きさを改めて感じることでした。本当にありがとうございました。

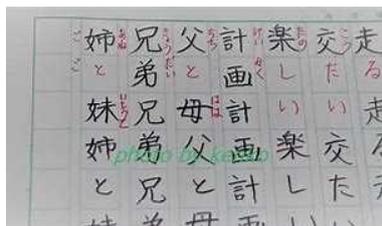
さて、「勉学の秋」、お子さんの家庭学習について少し考えてみたいと思います。

本来、家庭学習は、「理解できたことや身に付けたことは忘れないようにすること」として、重要なことは、「できないこと、理解していないことを、できたり理解できたりするようにすること」として、「新たな課題に向かって予習したり考えたりすること」等だと考えます。理解の程度や深さ、考え方は一人一人違うため、それぞれの課題に、それぞれの

やり方で、自ら取り組むことが必要であり、自分で家庭学習ができる子供にとつては、宿題は必要ないのです。

しかし、小学生の段階では、自分から課題を見つけて学習したり、次からの学習のための予習に取り組んだりできる子供は少ないため、本校では全学年で宿題を出しています。現在、子供たちの様子を見てみると、「出された課題や宿題を済ませること」「先生に怒られないように提出すること」などが目的になっているように思います。したがって、できる問題、分かる問題だけさつと済ませたり、ただ単にページを埋めたりするだけになっており、**覚えていないことを覚えようとして、分からなかったことを分かるようにしたり、できないことをできるようにしようとしていません。**

そこで、子供たちの宿題への考え方や**取り組み方を考え直す必要がある**と考えています。漢字の学習であれば、間違っただ字を覚えていただけで、漢字は正しく書け、読めるようになることが目的です。ですから、間違いが無いよう、よく確かめて練習することが必要であり、**家庭では、間違っただ字がある**



**れば、辞書を引いて、正しい字を確認・訂正をさせたり、意味を考えさせたりすることが必要です。**



日記は、読み手が理解できるよう書かなければなりません。読み手を意識した表現になっているでしょうか。自分本位で意味の分かりにくい表現や表記になっていませんか。算数の学習だと、できない問題や間違っただ問題をはつきりさせ、その問題をできるようにするまで考えたり、間違えないようになるまで練習したりすることが大事です。

家庭での声かけも、「宿題は済んだの」「先生に怒られるよ」ではなく、「**分からないところや、できないところは無かったの。分からなかったところを見せてもらえん。**」「**いっしょに考えてみようか。**」「**そこを明日、先生に聞いてきなさい。**」など声かけしていただければありがたいです。学力はなぜ必要か。それは、将来、なりたい自分になるために必要だと考えます。競争社会である以上、就きたい職業に就くために、学力があれば、選択の幅も広がります。学校・家庭が一緒になって子供たちの夢実現に向かって取り組んでいきましょう。